

追加型投信／内外／資産複合  
JPMベスト・インカム(毎月決算型)

交付運用報告書

第109期 (決算日：2023年10月16日)  
第110期 (決算日：2023年11月15日)  
第111期 (決算日：2023年12月15日)  
第112期 (決算日：2024年1月15日)  
第113期 (決算日：2024年2月15日)  
第114期 (決算日：2024年3月15日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「JPM ベスト・インカム (毎月決算型)」は、去る3月15日に第114期の決算を行いました。当ファンドは世界の債券、株式、リート(REIT)、その他の有価証券を投資対象とし、高いインカム収益および値上がり益が期待できるアセットクラスに分散投資し、信託財産の中長期的な成長をはかることを目指します。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

第114期末(2024年3月15日)	
基準価額	7,490円
純資産総額	131,401百万円
第109期～第114期 作成対象期間(2023年9月16日～2024年3月15日)	
騰落率	2.8%
分配金(税込)合計	180円

(注) 騰落率は収益分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIMベスト・インカム・マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「ベスト・インカム・マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

(注) 「JPモルガン・インベストメント・ファンズ・グローバル・インカム・ファンド」は「グローバルインカムファンド」ということがあります。

〈お問い合わせ先〉

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

TEL 03-6736-2350

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

am.jpmorgan.com/jp

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。運用報告書(全体版)の閲覧方法：上記URLにアクセス⇒画面右上の検索マークを選択⇒当ファンドの名称を入力して検索⇒運用報告書(全体版)を選択

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

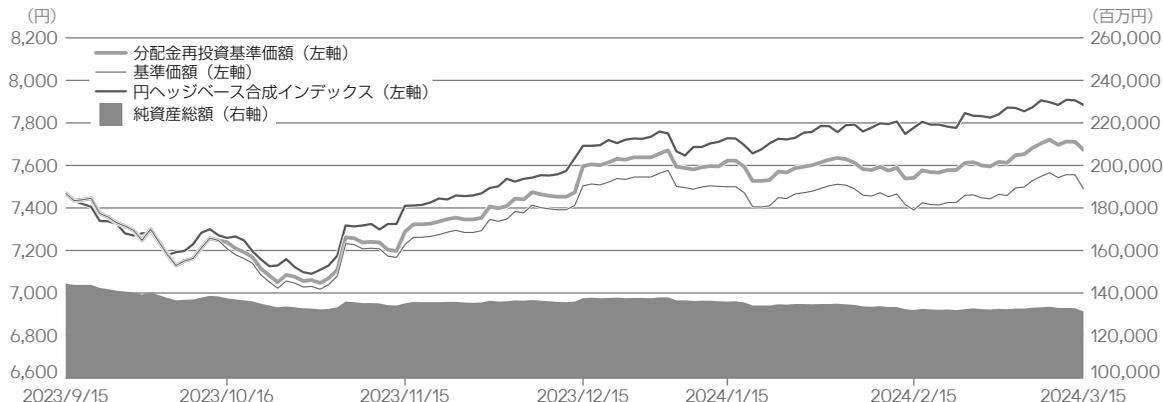
〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号

東京ビルディング

## 運用経過の説明

## ◎基準価額等の推移

(2023年9月16日～2024年3月15日)



第109期首：7,469円

第114期末：7,490円（既払分配金(税込)：180円）

騰落率：2.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです（以下同じ）。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません（以下同じ）。
- (注) 分配金再投資基準価額および円ヘッジベース合成インデックスはグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 円ヘッジベース合成インデックスは、ブルームバーグ米国ハイイールド社債2%発行体キャップ・インデックス（為替ヘッジあり、円ベース）、MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、為替ヘッジあり、円ベース）、ブルームバーグ・グローバル・クレジット・インデックス（為替ヘッジあり、円ベース）に各40%、35%、25%投資したとみなして、委託会社で独自に計算して作成した指数です。MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、為替ヘッジあり、円ベース）は、MSCI Inc.が発表しております。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しております。「Bloomberg®」およびブルームバーグの各指数は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、J.P.モルガン・アセット・マネジメントによる特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはJ.P.モルガン・アセット・マネジメントとは提携しておらず、また、J.P.モルガン・アセット・マネジメントが設定する商品を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、J.P.モルガン・アセット・マネジメントが設定する商品に関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません（以下同じ）。
- (注) 円ヘッジベース合成インデックスは、当ファンドの主要投資対象であるJPモルガン・インベストメント・ファンズグローバル・インカム・ファンドのベンチマークであり、当ファンドのベンチマークではありません（以下同じ）。

## ◎基準価額の主な変動要因

当ファンドは、マザーファンドが投資するJPモルガン・インベストメント・ファンズグローバル・インカム・ファンドの組み入れを高位に保つことにより、実質的に世界の債券、株式、リート等の有価証券を投資対象とし、高いインカム収益や値上がり益が期待できるアセットクラスに分散投資を行いました。当作成期のグローバルインカムファンドにおいては、株式資産では、先進国株式や欧州株式、新興国株式などが、債券資産ではハイ・イールド債券などがパフォーマンスにプラスに寄与しました。なお、当ファンドでは、グローバルインカムファンドにおいて原則として対円で為替ヘッジが行われているため為替変動リスクが軽減されています。

## ◎1万口当たりの費用明細

(2023年9月16日～2024年3月15日)

項 目	第109期～第114期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	37	0.509	(a)信託報酬＝〔当作成期中の平均基準価額〕×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(6)	(0.082)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、目論見書、運用報告書等の開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
( 販 売 会 社 )	(30)	(0.410)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、交付運用報告書の交付業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
( 受 託 会 社 )	(1)	(0.016)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b)その他費用＝ $\frac{\text{〔当作成期中のその他費用〕}}{\text{〔当作成期中の平均受益権口数〕}}$
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.001)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	37	0.511	
当作成期中の平均基準価額は、7,355円です。			

(注) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 各項目の費用はマザーファンドが組み入れている投資信託証券（投資信託受益証券および投資証券）が支払った費用を含んでおらず、上記以外に間接的に負担している主な費用として、マザーファンドが投資している投資信託証券には以下のものがあります。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における費用等については「組入上位ファンドの概要」に表示しています。

① JPMグローバル・インカム・ファンド（1クラス）（JPM Global Income Fund I Class）

運用報酬：日々の純資産に対して年率0.60%

事務管理報酬：実費（ただし、純資産に対して年率0.11%を上限とします。）

その他費用：有価証券の売買にかかる費用・税金、外貨建資産の保管費用、臨時で発生する費用、その他の税金等

② GIM ジャパン・マネーフル・ファンドF（適格機関投資家専用）

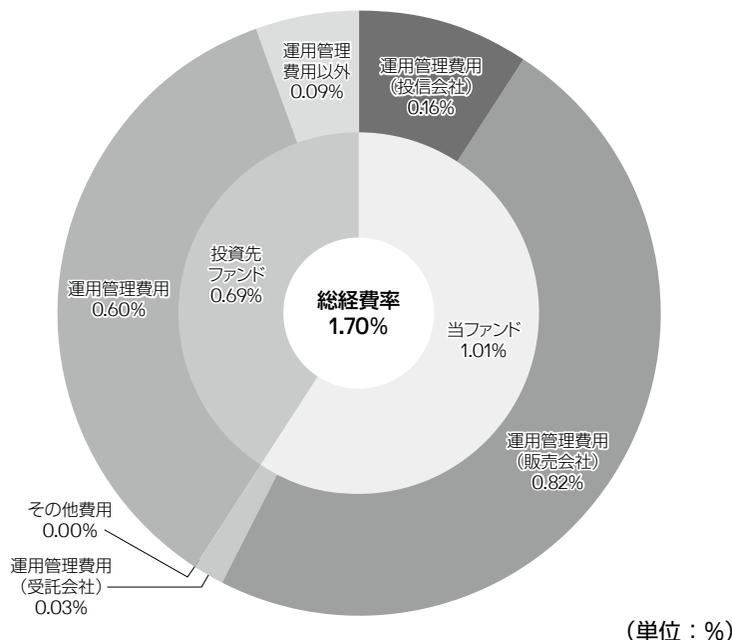
信託報酬：年率0.1045%（税抜0.095%）

監査費用：年率0.022%（税抜0.02%）ただし、年間330万円（税抜300万円）を上限とします。

## （参考情報）

### ○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を当作成期中の平均受益権口数に当作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



(単位：%)

総経費率 (①+②+③)	1.70
①当ファンドの費用の比率	1.01
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.60
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、ベスト・インカム・マザーファンドにおいて組入れている投資信託証券です。

(注) それぞれの投資先ファンドの費用は以下簡便法により算出した合計値です。

JPM グローバル・インカム・ファンド (1クラス)：当ファンドの目録見書に記載した当該投資先ファンドの運用管理費用を上記②とし、当該投資先ファンドの直近の計算期末時点におけるTER (総費用率) から上記②を差し引いた費用を上記③とする簡便法

GIM ジャパン・マネーブル・ファンドF (適格機関投資家専用)：当該投資先ファンドの直近の計算期末時点における運用報告書1万口当たりの費用明細において用いた簡便法

(注) GIM ジャパン・マネーブル・ファンドF (適格機関投資家専用) の費用は、GIM マネーブル・マザーファンド (適格機関投資家専用) が支払った費用を含みます。

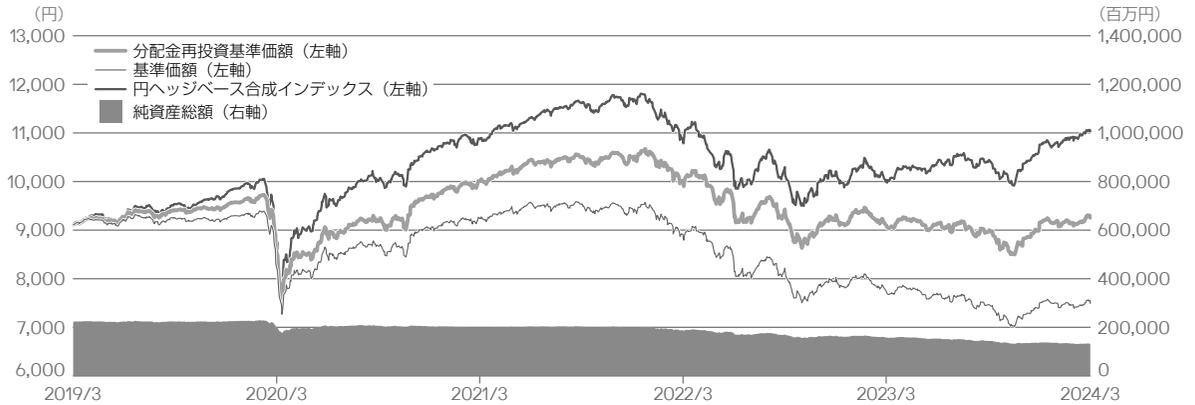
(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ◎最近5年間の基準価額等の推移

(2019年3月16日～2024年3月15日)



(注) 分配金再投資基準価額および円ヘッジベース合成インデックスはグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2019年3月15日 決算日	2020年3月16日 決算日	2021年3月15日 決算日	2022年3月15日 決算日	2023年3月15日 決算日	2024年3月15日 決算日
基準価額(円)	9,111	8,146	9,235	8,850	7,723	7,490
期間分配金合計(税込)(円)	—	360	360	360	360	360
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	△7.0	18.1	△0.4	△8.8	1.7
円ヘッジベース合成インデックス 騰落率(%)	—	△4.1	24.4	△0.8	△7.0	10.0
純資産総額(百万円)	223,525	197,861	199,107	186,342	157,825	131,401

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

## 【投資環境】

## ○主要株式市況

## ◆世界株式市場は上昇しました。

- 作成期首から10月にかけては、FOMC（米連邦公開市場委員会）において政策金利見通しが引き上げられたことや、イスラエルを巡る中東情勢の混乱から地政学リスクが高まったことなどが重石となり、市場は概ね軟調に推移しました。
- 11月から作成期末にかけては、堅調な企業決算や、ソフトランディング（経済の軟着陸）への期待が高まったことなどが支援材料となり、市場は上昇基調で推移しました。

\* 世界株式市場の動向は、MSCIワールド・インデックス（価格指数、現地通貨ベース）を使用しています。MSCIの各指数は、MSCI Inc.が発表しております。同指数に関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しております。

### ○主要債券市況

#### ◆米国ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

- 作成期首から10月にかけては、金利が想定よりも長い期間高止まりすると観測が高まったほか、イスラエル情勢に端を発する地政学リスクの高まりを受けてリスク資産全体にとって向かい風の環境となる中、ハイ・イールド債市場も軟調に推移しました。
- 11月から12月にかけては、ハイ・イールド企業のファンダメンタルズに大きな変化はありませんでしたが、ハイ・イールド債市場は堅調に推移しました。
- 1月から作成期末にかけては、堅調なマクロ経済を背景に、今後のソフトランディング又はノーランディングを織り込む形でクレジット・スプレッドがタイト化しました。

\*米国ハイ・イールド債券市場の動向は、ブルームバーグ・米国ハイ・イールド社債2%発行体キャップ・インデックス（米ドルベース）を使用しています。

### ○為替市況

為替市場では、英ポンドやユーロなど多くの通貨が円に対して上昇しました。

## 【運用経過】

### 1) 基準価額の推移

- 当ファンド：基準価額（税引前分配金再投資）の騰落率は2.8%となりました。
- 組入ファンド：マザーファンドの基準価額の騰落率は3.3%となりました。

### 2) 基準価額の主な変動要因

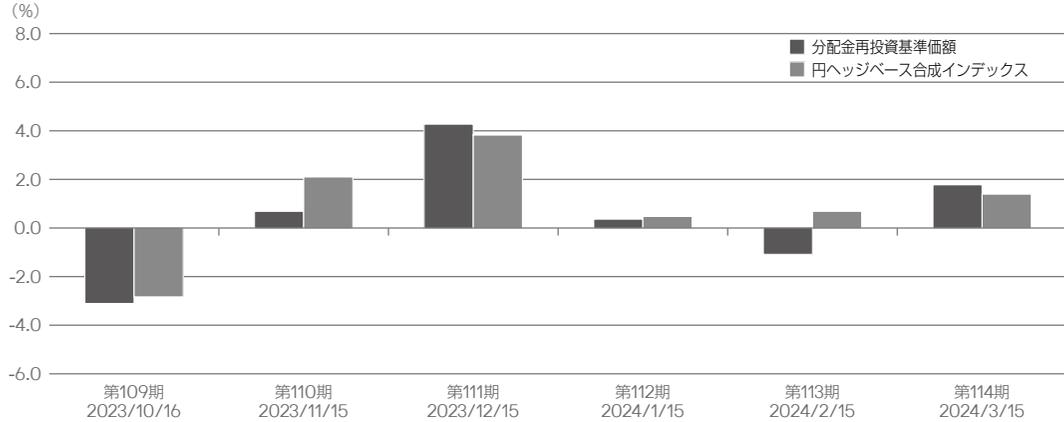
当ファンドは、マザーファンドが投資するJPモルガン・インベストメント・ファンズグローバル・インカム・ファンドの組み入れを高位に保つことにより、実質的に世界の債券、株式、リート等の有価証券を投資対象とし、高いインカム収益や値上がり益が期待できるアセットクラスに分散投資を行いました。当作成期のグローバルインカムファンドにおいては、株式資産では、先進国株式や欧州株式、新興国株式などが、債券資産ではハイ・イールド債券などがパフォーマンスにプラスに寄与しました。なお、当ファンドでは、グローバルインカムファンドにおいて原則として対円で為替ヘッジが行われているため為替変動リスクが軽減されています。

### 3) ポートフォリオについて

- 当ファンド  
マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。
- マザーファンド  
グローバルインカムファンドにおいては、米国ハイ・イールド債券や先進国株式などの投資比率が上昇した一方、リートや新興国株式、優先株式等などの投資比率が低下しました。

## ◎当ファンドのベンチマークとの差異

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 当ファンドはベンチマークがないため、ベンチマークに代えて当ファンドの主要投資対象であるJPモルガン・インベストメント・ファンズ・グローバル・インカム・ファンドのベンチマークとの対比を記載しています。

## ◎分配金

基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、当作成期合計で1万口当たり180円（税込）としました。留保益の運用につきましては、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込)

項 目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
	2023年9月16日～ 2023年10月16日	2023年10月17日～ 2023年11月15日	2023年11月16日～ 2023年12月15日	2023年12月16日～ 2024年1月15日	2024年1月16日～ 2024年2月15日	2024年2月16日～ 2024年3月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	30 0.414%	30 0.413%	30 0.398%	30 0.398%	30 0.404%	30 0.399%
当期の収益	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	632	639	649	654	655	661

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 円未満は切捨てです。当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の見通しと運用方針

### ◎今後の見通し

◆好調な経済指標を受けて米経済のソフトランディング（経済の軟着陸）への期待が高まる一方、早期利下げの可能性は幾分後退しました。株式市場は、堅調な経済指標や概ね良好な決算を受けて上昇した一方で、債券市場は利下げのタイミングが後ろ倒しになる可能性が高まったことから、まちまちな展開となりました。債券資産は短期的に調整される可能性があるものの、当ファンドでは、インカム収益や分散投資の観点から引き続き中長期的に魅力的であると考えています。また、引き続き2024年内の利下げ開始を見込んでおり、利下げは債券資産にとって追い風になる可能性があると見ています。また、財務健全性や中長期的な成長性の観点から、米国などの高配当株式やクレジット資産（ハイ・イールド債券や投資適格債券）は魅力的と考えています。

### ◎今後の運用方針

#### ○当ファンド

マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長をはかることを目的として運用を行います。

#### ○マザーファンド

グローバルインカムファンドを主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長をはかることを目的として運用を行います。今後もグローバルインカムファンドを通じて世界の債券、株式、リート、その他の有価証券を投資対象とし、高いインカム収益および値上がり益が期待できるアセットクラスに分散投資を行う方針です。

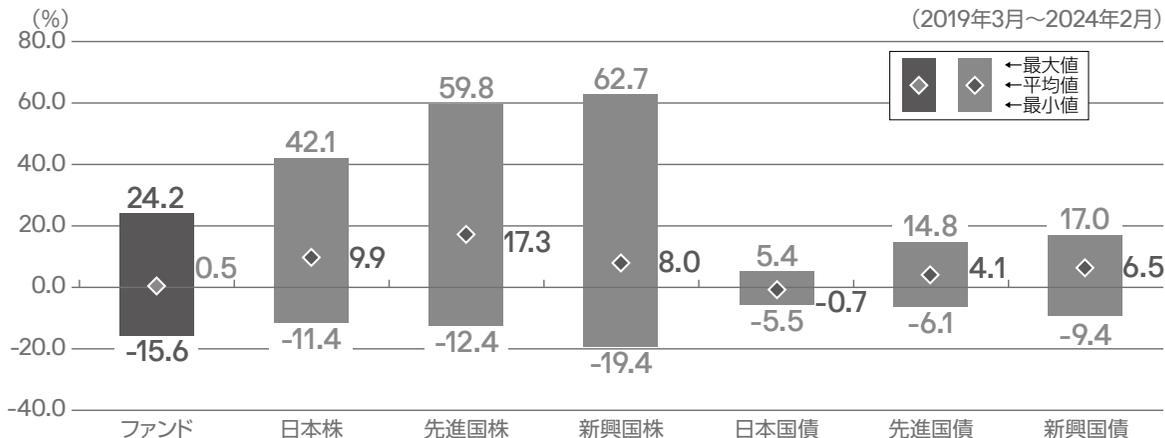
## 当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2014年9月17日から2034年9月15日（休業日の場合は翌営業日）までです。	
運用方針	マザーファンドを通じ、主として世界の債券、株式、リート（REIT）、その他の有価証券を主要投資対象とする外国投資法人が発行する外国投資証券に実質的に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資 （運用）対象	当ファンド	GIMベスト・インカム・マザーファンド（適格機関投資家専用）受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	以下の2ファンドを主要投資対象とします。 ①JPモルガン・インベストメント・ファンズグローバル・インカム・ファンド 世界の債券、株式、リート（REIT）、その他の有価証券を主要投資対象とします。 ②GIMジャパン・マネープール・ファンドF（適格機関投資家専用） GIMマネープール・マザーファンド（適格機関投資家専用）を通じ、円建ての公社債を主要投資対象とします。
組入制限および 運用方法	当ファンド	マザーファンドを通じて運用を行います。投資先ファンドを通じて債券、株式、リート、その他の有価証券へ投資します。為替ヘッジは行いません。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。投資信託の受益権等の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	世界の債券、株式、リート（REIT）、その他の有価証券を投資対象とし、高いインカム収益および値上がり益が期待できるアセットクラスに分散投資します。世界の債券、株式、リート、その他の有価証券に投資するグローバルインカムファンドの組入比率を高位に保つとともに、円建ての公社債に投資するマネープール・ファンドにも必ず投資します。 市場環境等の変化に応じて組入れるアセットクラスおよびその配分を機動的に変更します。マクロ経済の予測や、各アセットクラスの評価・分析の情報をもとに、市場環境等の変化に応じて、インカム収益および値上がり益が最も期待されるアセットクラスを選択し、その配分を機動的に変更します。J.P.モルガン・アセット・マネジメント <sup>(※)</sup> のグローバルなネットワークを活用します。ファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。為替ヘッジは行いません（投資先ファンドであるグローバルインカムファンドにおいては、原則として為替ヘッジを行います）。株式への直接投資は行いません。なお、投資先ファンドを通じて債券、株式、リート、その他の有価証券へ投資します。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。投資信託の受益権等の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
分配方針	決算日（原則毎月15日）に基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

(※) J.P.モルガン・アセット・マネジメントは、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーおよび世界の関連会社の資産運用ビジネスのブランドです。

## ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

年間騰落率（毎月末時点）の平均と振れ幅を、ファンドと代表的な資産クラスとの間で比較したものです。



(注)

- ファンドの分配金再投資基準価額および年間騰落率は、実際の基準価額およびそれに基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ファンドの年間騰落率（毎月末時点）は、毎月末とその1年前における分配金再投資基準価額を対比して、その騰落率を算出したものです。（月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。設定から1年未満の時点では算出されません。）
- 分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したものです。
- 代表的な資産クラスの年間騰落率（毎月末時点）は、毎月末とその1年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。（月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。）
- ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の5年間の毎月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。
- ファンドは、代表的な資産クラスの全てに投資するものではありません。
- 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

○代表的な資産クラスを表す指数

- 日本株・・・TOPIX（配当込み）
- 先進国株・・・MSCIコクサイ指数（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI（国債）
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-エマージング・マーケット・グローバル（円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジを行わないものとして算出されたものです。なお、MSCIコクサイ指数（配当込み、円ベース）およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、委託会社で円換算しています。

TOPIX（東証株価指数）は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。MSCIコクサイ指数およびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が発表しています。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しています。MSCIコクサイ指数（配当込み、円ベース）およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、同社が発表したMSCIコクサイ指数（配当込み、米ドルベース）およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）を委託会社にて円ベースに換算したものです。

NOMURA-BPI（国債）は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属しております。また、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-エマージング・マーケット・グローバルは、JPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

## 当ファンドのデータ（2024年3月15日）

## ◎組入資産の内容

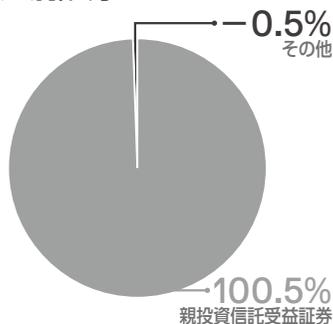
## ◎組入ファンド等

ベスト・インカム・マザーファンド	100.5%
その他	△0.5%
組入銘柄数	1銘柄

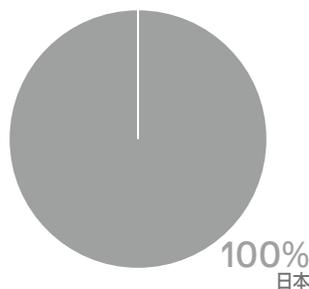
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) その他は現金・預金・その他資産（負債控除後）です（以下同じ）。

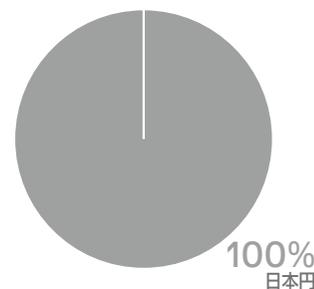
## ◎資産別配分



## ◎国別配分



## ◎通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分は発行国または地域を表示しています。なお、当ファンドの実質的な投資内容は、次ページ以降をご参照ください。

## ◎純資産等

項目	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末	第114期末
	2023年10月16日	2023年11月15日	2023年12月15日	2024年1月15日	2024年2月15日	2024年3月15日
純資産総額	137,520,848,119円	135,077,813,898円	137,586,485,559円	136,032,948,209円	131,912,453,572円	131,401,793,342円
受益権総口数	190,756,802,765口	186,906,802,557口	183,356,818,321口	181,367,047,180口	178,507,751,648口	175,447,244,855口
1万口当たり基準価額	7,209円	7,227円	7,504円	7,500円	7,390円	7,490円

(注) 当作成期間（第109期～第114期）中における追加設定元本額は2,368,259,535円、同解約元本額は20,310,900,860円です。

## ◎組入上位ファンドの概要

### ◆ベスト・インカム・マザーファンド（2023年9月15日）

#### ○基準価額等の推移



(注)円ヘッジベース合成インデックスは、当ファンドの主要投資対象であるJPモルガン・インベストメント・ファンズ・グローバル・インカム・ファンドのベンチマークであり、当ファンドのベンチマークではありません。グラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

#### ○1万口当たりの費用明細

(2022年9月16日～2023年9月15日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用 (その他)	0 (0)	0.001 (0.001)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は、11,800円です。

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

#### ○組入上位10銘柄

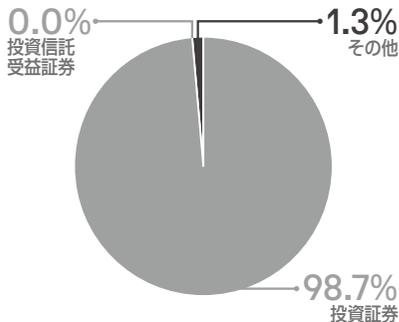
銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
JPMI GLOBAL INCOME FUND JPY	投資証券	日本円	ルクセンブルク	98.7%
GIMジャパン・マネープール・ファンドF (適格機関投資家専用)	投資信託受益証券	日本円	日本	0.0
組入銘柄数	2銘柄			

(注) 国(地域)は発行国または地域を表示しています。

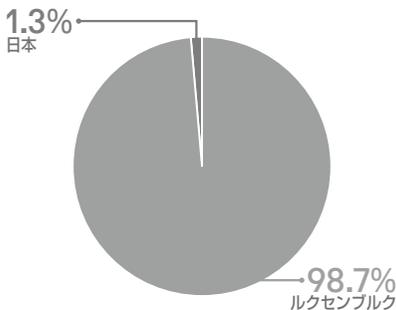
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

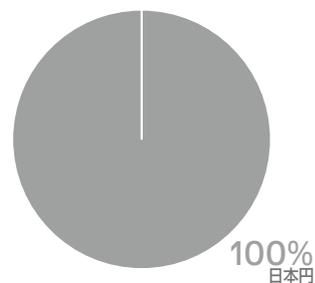
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) その他は現金・預金・その他資産(負債控除後)です。

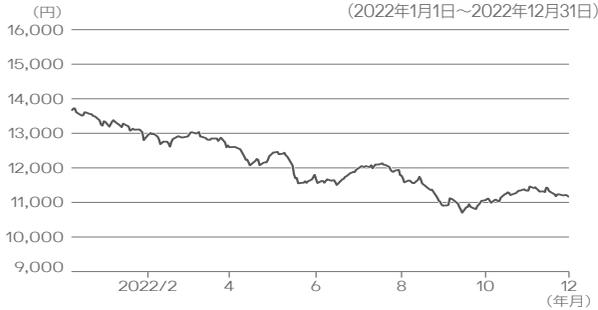
(注) 国別配分は発行国または地域を表示しています。

## ◎組入上位ファンドの概要

### ◆JPモルガン・インベストメント・ファンズ-グローバル・インカム・ファンド（2022年12月31日） JPMグローバル・インカム・ファンド（Iクラス）

世界の債券、株式、リート（REIT）、その他の有価証券を主要投資対象とします。

### ○基準価格の推移



### ○直近計算期間におけるTER（総費用率）

0.69%

(注) TER（総費用率）は、運用にかかる費用の合計をファンドの純資産の日次平均に対する比率で表したものです。運用にかかる費用の合計には、運用および顧問報酬、保管報酬、税金、その他費用が含まれております。当座貸越利息と実績報酬は計算対象から除いております。

(注) 1万口当たりの費用明細が取得できないため、TER（総費用率）を表示していません。

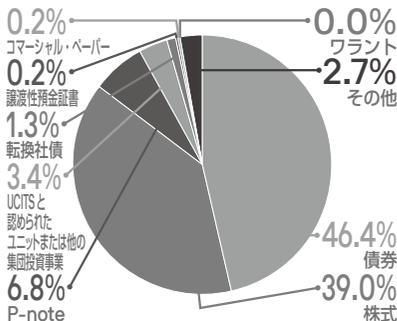
### ○組入上位10銘柄

銘柄名	国(地域)	資産	比率
JPMorgan USD Liquidity LVNAV Fund	ルクセンブルク	UCITS	3.4%
UBS AG, 144A 9% 06/04/2023	アメリカ	P-note	1.0
Societe Generale SA 9% 11/04/2023	アメリカ	P-note	1.0
National Bank of Canada 9% 04/04/2023	アメリカ	P-note	1.0
BNP Paribas SA, 144A 8.5% 16/03/2023	アメリカ	P-note	1.0
BNP Paribas SA, 144A 9% 23/03/2023	アメリカ	P-note	1.0
Barclays Bank plc 8.5% 09/03/2023	イギリス	P-note	1.0
Societe Generale SA 9% 03/01/2023	アメリカ	P-note	0.9
US Treasury 0.125% 31/01/2023	アメリカ	債券	0.8
AbbVie, Inc.	アメリカ	株式	0.5
組入銘柄数			3,234銘柄

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

### ○資産別配分



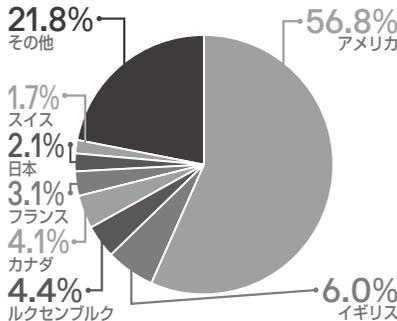
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 資産別配分のその他は現金・預金・その他資産（負債控除後）です。国別配分のその他は現金・預金・その他資産（負債控除後）を含みます。

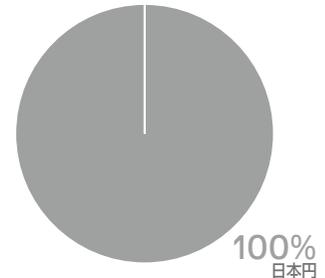
(注) 国別配分は、監査済み年次報告書にもとづき表示しています。

(注) 当ファンドの通貨別配分は、監査済み年次報告書に開示されていないため、当ファンドの建簿通貨を表示しています。

### ○国別配分



### ○通貨別配分



## ◎組入上位ファンドの概要

### ◆GIM ジャパン・マネーパール・ファンドF（適格機関投資家専用）（2023年1月16日）

GIM ジャパン・マネーパール・ファンドF（適格機関投資家専用）は、GIM マネーパール・マザーファンド（適格機関投資家専用）を主要投資対象とします。

### ◎基準価額の推移



### ◎1万口当たりの費用明細

(2022年1月15日～2023年1月16日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	10 (7) (1) (2)	0.105 (0.072) (0.011) (0.022)
(b) その他費用 ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	7 (2) (5)	0.073 (0.020) (0.054)
合 計	17	0.178

期中の平均基準価額は、9,976円です。

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

### ◎マザーファンドの組入上位10銘柄

銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
第141回利付国債(5年)	国債証券	日本円	日本	29.2%
第340回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	13.9
第353回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	6.4
第116回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	2.7
第154回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	1.7
第129回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	0.9
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
組入銘柄数		6銘柄		

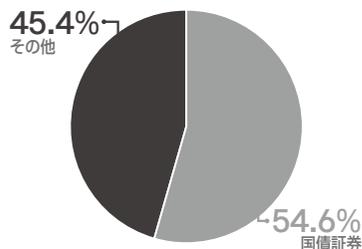
(注) 国(地域)は発行国または地域を表示しています。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) ファンドはマザーファンドを通じて投資を行うため、マザーファンドの投資銘柄をファンドが直接保有しているものとみなし、ファンドの純資産総額に対する投資比率として計算しています(以下同)。

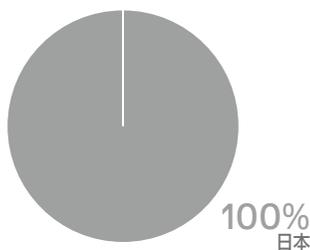
### ◎資産別配分



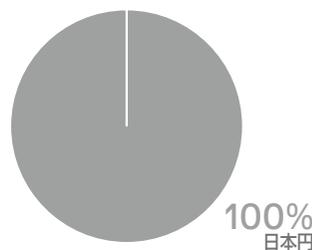
(注) 国別配分は発行国または地域を表示しています。

(注) その他は現金・預金・その他資産(負債控除後)です。

### ◎国別配分



### ◎通貨別配分



余白

